

きのくに自主防災

第33号（令和7年8月号）

＜発行元＞

和歌山県自主防災組織情報連絡会事務局（和歌山県庁防災企画課内）

令和6年度4県連携自主防災組織交流大会を開催！

4県： 徳島県 三重県 高知県 和歌山県

南海トラフ巨大地震の発生時に大きな被害が予想される4県。それぞれの県での現状や活動を共有することで、共通課題である自主防災組織の育成や活動の活性化を図っています。

○日時 令和7年2月2日（日）

○開催 徳島県（毎年4県が持ち回りで開催）

○目的 先進的な事例を学び、意見交換等の交流から効果的な取り組みを考える

徳島県

美波町 自主防災連合会

会長 繫友 薫 さん

事例発表者の方々

三重県

玉城町 防災ボランティア

中西 弘美 さん

高知県

南海トラフ地震対策課

地域支援担当チーフ

備前 佑介 さん

和歌山県

和歌山市 加太地区防災会

会長 藤井 保夫 さん



徳島県



各県事例発表内容のご紹介

○美波町の取組

・避難経路の確保

津波避難タワーの建設や、地域のワークショップでの避難経路の検討、住民自身での避難路の整備など様々な取組を行っています。

避難タワー建設等の計画段階や工事段階において、現場視察等を行うことで、住民の意向を反映するとともに防災意識を高めるきっかけとなっています。

・訓練の実施

避難訓練のみならず、薪を利用した炊き出し訓練やHUGを使用した防災訓練等を行っています。

◇他にも講演会やワークショップ、視察や研修などを通して住民の防災に対する関心を高め、災害への備えを強化することによって地域全体の防災力向上に繋げています。



地域のワークショップの様子



建設現場視察の様子

○玉城町防災ボランティアの取組

三重県



・こどもたちへの防災体験や講座の開催

実際の避難時に活かせる知識を体験型で学ぶことにより、災害時の環境の中で生き抜く力を身につけることができます。

例) ポリ袋炊飯、新聞紙スリッパづくり、備蓄倉庫見学など

・防災キャンプの実施

1泊2日で防災クッキングや一斗缶を利用したトイレづくり、消火器を用いた消火訓練など様々なワークショップや避難所での宿泊体験を行い、大人もこどもも防災意識を高められる機会を提供しています。



備蓄倉庫見学の様子



ワークショップの様子



高知県

各県事例発表内容のご紹介

○高知県の取組

- ・南海トラフ地震対策啓発ドラマの制作

災害を自分ごととして捉えられるように、一つの家族を中心とした啓発ドラマを制作。第1章では登場人物が南海トラフ地震によって起こる様々な困難に直面する様子が描かれており、第2章ではそれらの困難に対して一人ひとりができる備えについて解説しています。

○自主防災活動事例集の作成

「地域の人たちが防災に関心を持ってくれない」、「リーダーがいない」、「活動内容を知らせる手段がない」など自主防災組織における課題に対し、自主防災活動の参考となる事例や事業を紹介するなど、自主防災組織が円滑かつ効果的に活動できるよう工夫されています。



▲自主防災活動事例集

►啓発ドラマ



○和歌山市加太地区防災会の取組

・訓練の実施

避難所開設訓練ではパーティションの組み立てや、実際の避難所に近い条件下での生活体験を実施、炊き出し訓練では災害が起こった状況下での炊き出しにおいて、要する時間や配給方法などの検証もおこなっています。

地震や津波のみならず、豪雨による浸水害を想定した水防訓練も行っており、住民が様々な災害に対して備えられるよう積極的に活動しています。

・避難対策ワークショップの実施

地域の避難計画を地区防災計画へ反映させ、住民一人ひとりが避難する際にどのように行動すべきかを考えることで、防災に対する関心を高めることに繋がっています。

◇今後は一時避難場所の拡充にも力を入れていく予定です。



和歌山県



防災士ネットワーク研修交流会を開催しました



令和7年2月21日（金）

防災に関する知識を深めるとともに、地域での連携強化を目指して田辺西牟婁地域で交流会を開催し、防災士や地域の防災活動に興味がある方など、約40名にご参加いただきました。

交流会では、日本防災士会和歌山県支部、きなんに防災を広め隊、（株）後工務店にご講演いただいた後、簡易トイレ体験や、防災のフェーズフリーについての意見交換を実施しました。

○講演内容○

・防災研修やイベントでの啓発活動、県内外での災害ボランティア派遣実績について
防災士会和歌山県支部 早稲田 真廣さん
奥田 恭久さん



～日本防災士会和歌山県支部～
防災啓発活動、災害ボランティア等の
活動内容についての講演

・避難生活でのトイレやベッド等生活環境の大切さを広める活動について
きなんに防災を広め隊 石山 雅美さん
鹿毛 智子さん



～きなんに防災を広め隊～
避難生活での生活環境についての講演

・「かみとんだプロジェクト」における人と防災、空き家と防災、建設業界と防災の3つの事業について
(株)後工務店 後 棟晃さん



防災わかやま X (旧Twitter)

災害時に市町村が発令する避難情報や、土砂災害警戒情報などの情報をお知らせします。

甚大な被害が発生するような災害が予想される場合の注意喚起や、新たな防災に関する取組も発信します。

ぜひフォローしてください！

＜お問い合わせ先＞
災害対策課(073-441-2261)

防災わかやま
Wakayama Prefecture



@bousaiwakayama

津波から『逃げ切る！』ために ～東海・東南海・南海3連動地震、南海トラフ巨大地震による津波に備えて～



南海トラフ沿いの3つの領域（東海・東南海・南海）では、これまで約90年～150年周期で津波を伴う地震が発生しています。地震が発生しても落ち着いて行動できるよう、日頃から避難先やハザードマップまたは『津波から「逃げ切る！」支援対策プログラム』を確認するなど、災害に備えましょう。

東日本大震災では、浸水想定地域を大きく越える津波がおしよせ、多くの命が失われました。地震の揺れが収まったら必ず避難してください。空振りを恐れずに、率先して避難しましょう！



「きのくに自主防災」に掲載する防災活動事例を募集しています

きのくに自主防災では、地域で防災活動に取り組まれている方々の活動事例を募集しています。自主防災組織の訓練、普段の活動の取組や、学校と連携した防災活動など特色ある活動事例を紹介いただける場合は、ご連絡をお願いします。※紙面の都合により紹介いただいたものすべてを掲載できない場合もございますので、予めご了承ください。

【お問い合わせ先】

和歌山県危機管理部危機管理局防災企画課
TEL：073-441-2271
FAX：073-422-7652

どこか特色ある防災活動を行なう自主防災組織ないかなあ

取材できれば...



県担当者